

## 第 55 回日韓経済人会議

開催日 2023 年 5 月 16 日（火）～17 日（水）

開催場所 韓国・ソウル特別市：ロッテホテルソウル クリスタルボールルーム I + II

日韓経済人会議は、1969 年に開催して以降、1 度も中断することなく毎年、日韓交互に会場を設け、今年は記念すべき第 55 回を迎えました。その間には幾多の困難がありましたが、ここまで続けられてきたのは、ひとえに諸先輩方の熱意によるものであり、あらためて感謝を申し上げます。また、ここ 3 年間はコロナ禍の影響によってオンラインによる開催が続いておりましたが、今回は 4 年ぶりに日韓の経済人が一堂に会することができ、会場は再会を喜ぶ声で溢れました。

韓国を訪問した日本側団長団は、会議前日の 15 日（月）に、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領と面談いたしました。冒頭、佐々木会長は「日韓関係の改善に向けた尹大統領の英断に敬意を表したい」と挨拶し、これに対し尹大統領からは、厳しい環境においても民間交流を続けてきたことへの感謝と、今後の日韓企業の協業を期待するとの発言がありました。その日の夕刻には朴振（パク・チン）外交部長官、翌 16 日（火）には産業通商資源部の安徳根（アン・ドクン）通商交渉本部長にも面談をいただきました。



（金鉦会長、朴振長官、佐々木会長）



（右から 2 人目：安徳根本部長）

今回のテーマは『激動するビジネス環境、新しい未来をともに創造』です。基調講演として日本側から登壇いただいた齋木昭隆さん（元外務事務次官）は、国際情勢・地域情勢が動揺する中において日韓関係の強化は急務である、そして次の世代を背負う若い世代への投資が重要であると述べられました。翌日のセッション 1 では、JETRO 河田さんはオープンイノベーションにおける日韓連携の可能性を、丸紅(株)黒石さんはグリーン事業の実例について、続くセッション 2 では、静岡県松原さんが地域間交流・地域外交について、SJC 井口さんは在韓日本企業の視点から発表されました。韓国側から発表された日韓協力の方向性などとともに、幅広いテーマが取り上げられ、和やかな雰囲気の中にも真摯で、かつ具体的な議論・意見交換となりました。



(開会挨拶をする佐々木会長)



(来賓を交えた記念撮影)

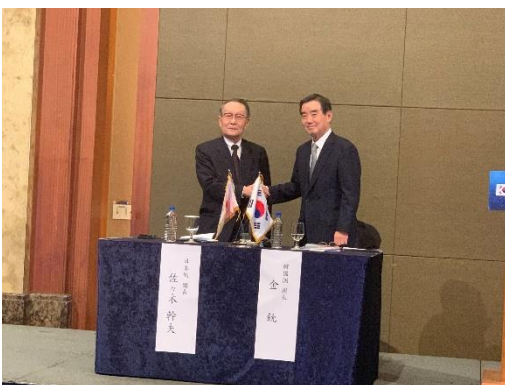
今回の経済人会議は、日韓関係が改善に向けて急速に動くなかでの開催となりました。初日の夕刻に催されました歓迎レセプションでも、再開を喜び、友情を確認する場面が多くみられました。特に閉会式において両会長が固く握手する姿は、厳しい時代、またコロナ禍を乗り越えてきた両国経済人の信頼を象徴するものでした。



(セッション1)



(セッション2)



(閉会式)



(共同記者会見)

第56回日韓経済人会議は、東京での開催です。多くの経済人の皆さまのご参加をお待ちします。

## 第 55 回 日韓経済人会議 基本日程

テーマ：「激動するビジネス環境、新しい未来をともに創造」

日時：2023年5月16日（火）～17日（水）

会場：ロッテホテル 2F クリスタルボールルーム I + II

日付	プログラム
5月16日 (火)	<p>&lt;開会式&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆オリエンテーション</li> <li>◆記念撮影</li> <li>◆団長挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国側 金鉞 (キム・ユン) 韓日経済協会 会長</li> <li>日本側 佐々木 幹夫 日韓経済協会 会長</li> </ul> </li> <li>◆来賓挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国側 安德根 (アン・ドクン) 通商交渉本部長</li> <li>日本側 相星 孝一 駐韓日本国特命全権大使</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;基調講演&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国側 孫京植 (ソン・ギョンスク) 韓国経営者総協会会長</li> <li>日本側 齋木 昭隆 元外務事務次官</li> </ul> </p> <p>&lt;日韓新産業貿易会議の報告・提言&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国側 鄭晩基 (チョン・マンギ) 韓国貿易協会 副会長</li> <li>日本側 麻生 泰 麻生セメント(株)会長</li> </ul> </p> <p>&lt;レセプション&gt;</p>
5月17日 (火)	<p>&lt;第1セッション&gt;</p> <p>コーディネーター：廉載鎬 (ヨム・ジェホ) 高麗大学校 名誉教授</p> <p>テーマ：「日韓経済連携の拡大」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国① 金天柱 (キム・チョンジュ) 韓国国際規格認証院 「相互信頼に基づいた経済協力 (Win-Win 戦略)」</li> <li>日本① 河田 美緒 日本貿易振興機構 理事 「日韓エコシステムの交流に向けて」</li> <li>韓国② 朴正圭 (パク・ジョンギュ) 漢陽大学 兼任教授 「未来自動車と半導体分野における日韓協力の方策 -産業パラダイムの変化への対応-」</li> <li>日本② 黒石 邦典 丸紅株式会社 顧問 「未来に向けて、日韓経済協力の強化 ~丸紅のグリーン事業のご紹介~」</li> </ul> <p>&lt;第2セッション&gt; (20分×4名)</p> <p>コーディネーター：出石 直 日本放送協会 解説主幹</p> <p>テーマ：「日韓相互交流の増進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国① 朴相俊 (パク・サンジュン) 早稲田大学 教授 「日韓企業の協力の方向」</li> <li>日本① 松村 昭宏 静岡県地域外交担当部長 「静岡県の地域外交-地域だからできること-」</li> <li>韓国② 李亨五 (イ・ヒョンオ) 淑明女子大学 教授 「日韓協力事業の変化の過程と今後の方向 -韓日産業技術協力財団 30年史を中心に-」</li> <li>日本② 井口 和容 ソウルジャパンプラブ 理事長 「日韓相互交流の更なる促進にむけて」</li> </ul> <p>&lt;閉会式&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆団長挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国側 金鉞 (キム・ユン) 韓日経済協会 会長</li> <li>日本側 佐々木 幹夫 日韓経済協会 会長</li> </ul> </li> <li>◆共同声明採択</li> </ul> <p>&lt;共同記者会見&gt;</p>